

県内における新型コロナウイルス感染症患者の発生状況について

令和4年3月18日 9時現在

陽性者 (累積)	入院中					死亡	退院等
	入院予定を含む	医療機関 入院予定を含む	軽症・中等症 無症状を含む	重症 人工呼吸器集中治療等	宿泊療養施設 (無症状・軽症) 入所予定を含む		
21,799人 (+248)	153人 (Δ2)	71人 (Δ3)	68人 (Δ2)	3人 (Δ1)	82人 (+1)	125人	19,349人 (+288)
	自宅療養等 (無症状・軽症)						
	2,172人 (Δ38)						

検査実績（管轄保健所別）

【R3.12.31現在】

保健所	市 町	管内人口 (R2.10.1)	検査件数	陰 性	陽 性	陽性率
四国中央	四国中央市	82,754	7,386	7,123	263	3.6%
西 条	新居浜市、西条市	220,729	19,325	18,408	917	4.7%
今 治	今治市、上島町	158,181	18,479	18,047	432	2.3%
中 予	伊予市、東温市、久万高原町、 松前町、砥部町	126,550	12,122	11,763	359	3.0%
八幡浜	八幡浜市、大洲市、西予市、 内子町、伊方町	131,669	13,491	13,330	161	1.2%
宇和島	宇和島市、松野町、鬼北町、 愛南町	103,766	12,609	12,391	218	1.7%
松山市	松山市	511,192	65,314	62,299	3,015	4.6%
合 計		1,334,841	148,726	143,361	5,365	3.6%

一斉検査	実施時期	検査件数	陰 性	陽 性	陽性率
臨時PCR検査センター	3/30～4/9 8/10～13 8/24～26 10/6～8	6,588	6,563	25	0.4%
繁華街モニタリングキット配布ステーション	①5/24～28 ②6/14～18 ③7/29～30 ④9/13～16 ⑤10/8～13	1,898	1,896	2	0.1%
高齢者施設等一斉検査	4/15～6/1 8/31～9/7	18,885	18,865	20	0.1%

※先月の月末時点の検査実績(管轄保健所別)については、毎月下旬頃に更新する予定です。

クラスター等の確認状況（R4.3.10～3.16）

R4.3.18公表

1 クラスターの確認状況

単位：名

名称・市町	認定日	陽性者の内訳 (期間中の陽性確認数)	陽性者の累計 (期間中の陽性確認数)
◆西条保健所（新居浜市、西条市）			
【新規】飲食店⑳ (西条市)	3月10日	利用者7 (+2)	7 (+2)
【新規】飲食店㉑ (新居浜市)	3月16日	従業員5 (+5)	5 (+5)
【新規】会食㉒ (西条市)	3月10日	参加者12 (+7)	12 (+7)
【新規】高齢者施設㉓ (西条市)	3月10日	職員4、利用者5 (+2)	9 (+2)
【新規】高齢者施設㉔ (西条市)	3月16日	職員2 (+2)、利用者4 (+4)	6 (+6)
【新規】医療機関㉕ (新居浜市)	3月10日	職員5 (+4)、患者14 (+14)	19 (+18)
福祉施設㉖ (西条市)	3月9日	職員3 (+1)、利用者7 (+2)	10 (+3)
◆今治保健所（今治市、上島町）			
【新規】高齢者施設㉗ (今治市)	3月16日	職員5 (+5)	5 (+5)
◆松山市保健所（松山市）			
【新規】会食㉘ (松山市)	3月12日	参加者7 (+7)	7 (+7)
高齢者施設㉙ (松山市)	3月9日	職員8 (+3)、利用者3	11 (+3)
【新規】高齢者施設㉚ (松山市)	3月13日	利用者13 (+13)	13 (+13)
職場内㉛ (松山市)	3月9日	従業員12 (+2)	12 (+2)
【新規】職場内㉜ (松山市)	3月12日	従業員6 (+4)	6 (+4)
【新規】職場内㉝ (松山市)	3月15日	職員6 (+6)	6 (+6)
【新規】職場内㉞ (松山市)	3月15日	従業員11 (+11)	11 (+11)
【新規】福祉施設㉟ (松山市)	3月11日	職員5 (+2)、利用者10 (+5)	15 (+7)
【新規】福祉施設㊱ (松山市)	3月15日	利用者7 (+7)	7 (+7)
スポーツチーム㊲ (松山市)	3月8日	チーム内16 (+5)	16 (+5)
◆中予保健所（伊予市、東温市、久万高原町、松前町、砥部町）			
【新規】職場内㊳ (松前町)	3月16日	従業員5 (+5)	5 (+5)
◆宇和島保健所（宇和島市、松野町、鬼北町、愛南町）			
高齢者施設㊴ (宇和島市)	3月5日	職員7 (+1)、利用者6 (+2)	13 (+3)

※陽性者は、クラスターの直接の関係者のみ（家族など2次感染等は含まない）

【新規】は、当該期間（3/10～3/16）中に、認定した新規クラスター

2 当該期間中に陽性者が10名以上確認された「学校」及び「児童施設」

単位：校・施設数

種別	東予地域	中予地域	南予地域	計
幼稚園・保育所・認定こども園	2	3	1	6
その他児童施設				0
小学校	1	2		3
中学校				0
高等学校・中等教育学校			1	1
特別支援学校				0
大学・専門学校等		2		2
計	3	7	2	12

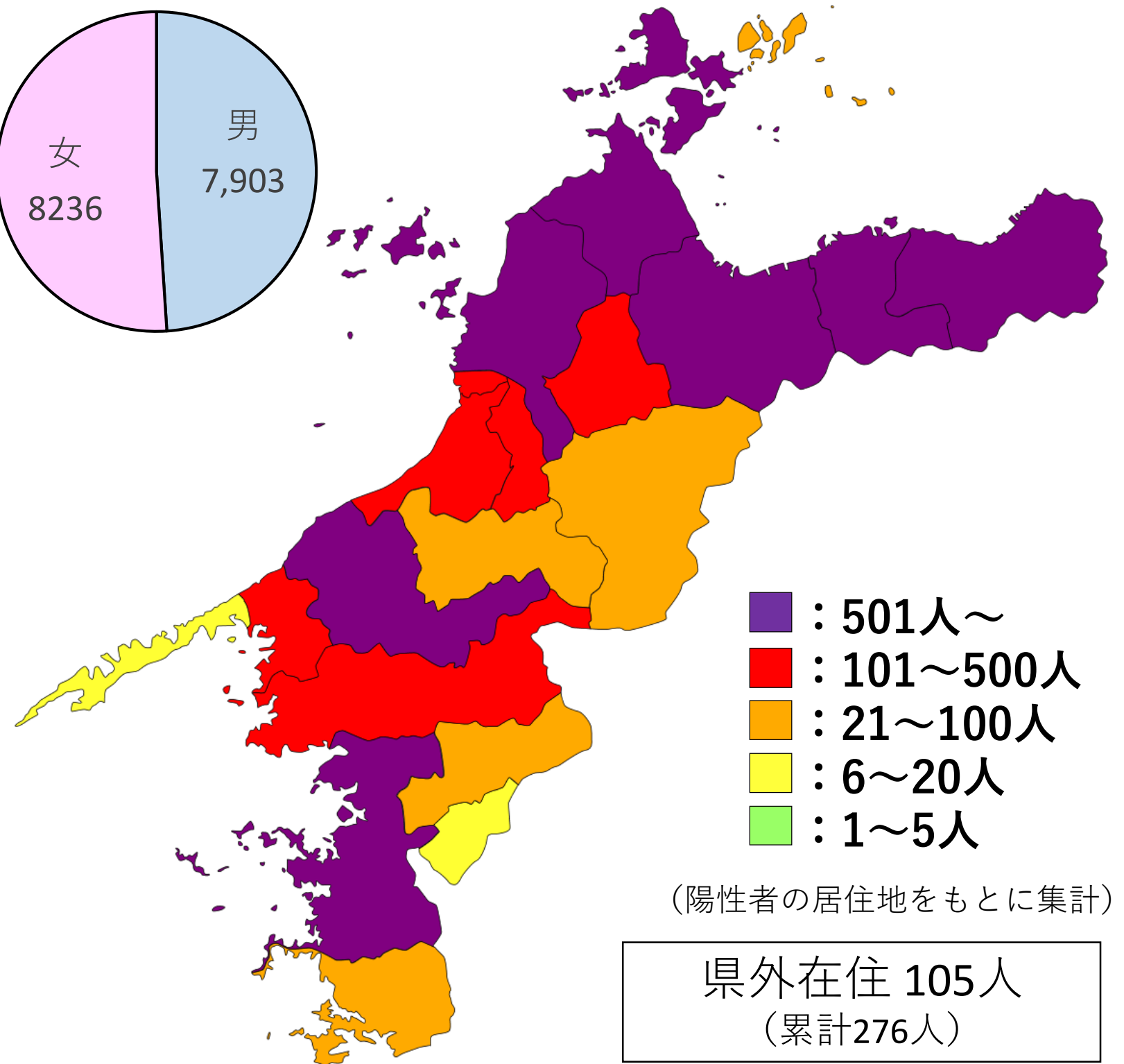
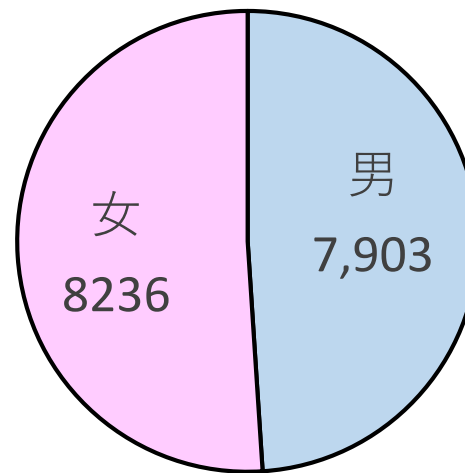
※クラスターか否かを問わず、同一校で当該期間中に10名以上の陽性が確認された学校等の数

1月以降の市町別陽性者の状況（3月17日時点）

市町名	陽性者数	（累計）
松山市	8,339人	（10,310人）
新居浜市	1,304人	（1,902人）
今治市	1,612人	（2,015人）
西条市	1,254人	（1,545人）
宇和島市	617人	（784人）
四国中央市	572人	（825人）
大洲市	567人	（641人）
松前町	362人	（451人）
伊予市	306人	（373人）
東温市	275人	（392人）
砥部町	255人	（334人）
八幡浜市	136人	（167人）
西予市	150人	（182人）
内子町	84人	（102人）
久万高原町	54人	（60人）
鬼北町	55人	（64人）
愛南町	34人	（51人）
伊方町	19人	（22人）
上島町	27人	（36人）
松野町	12人	（19人）

愛媛県：16,139人（累計：21,551人）

男女の内訳（人）



「年度替わり」の注意事項

① 県外との不要不急の出張・往来自粛

➤ 転入（転勤・転居など）や 往来・出張などによる感染の持ち込み・持ち帰りに注意

- ・ 転入前及び県外との往来・出張時には、感染回避行動を徹底
- ・ 転入後及び帰県後 1 週間は、体調管理に留意
※発熱、咳やのどの痛み、鼻水など、風邪のような症状がある場合は、外出を控え、医療機関に事前に連絡の上、速やかに受診
- ・ 県外で、感染リスクの高い行動（会食やマスクを外して人と会話するなど）があった方は、来県・帰県後 1 週間は、会食には参加しないなど、慎重に行動を
- ・ 学生等の帰省時も同様

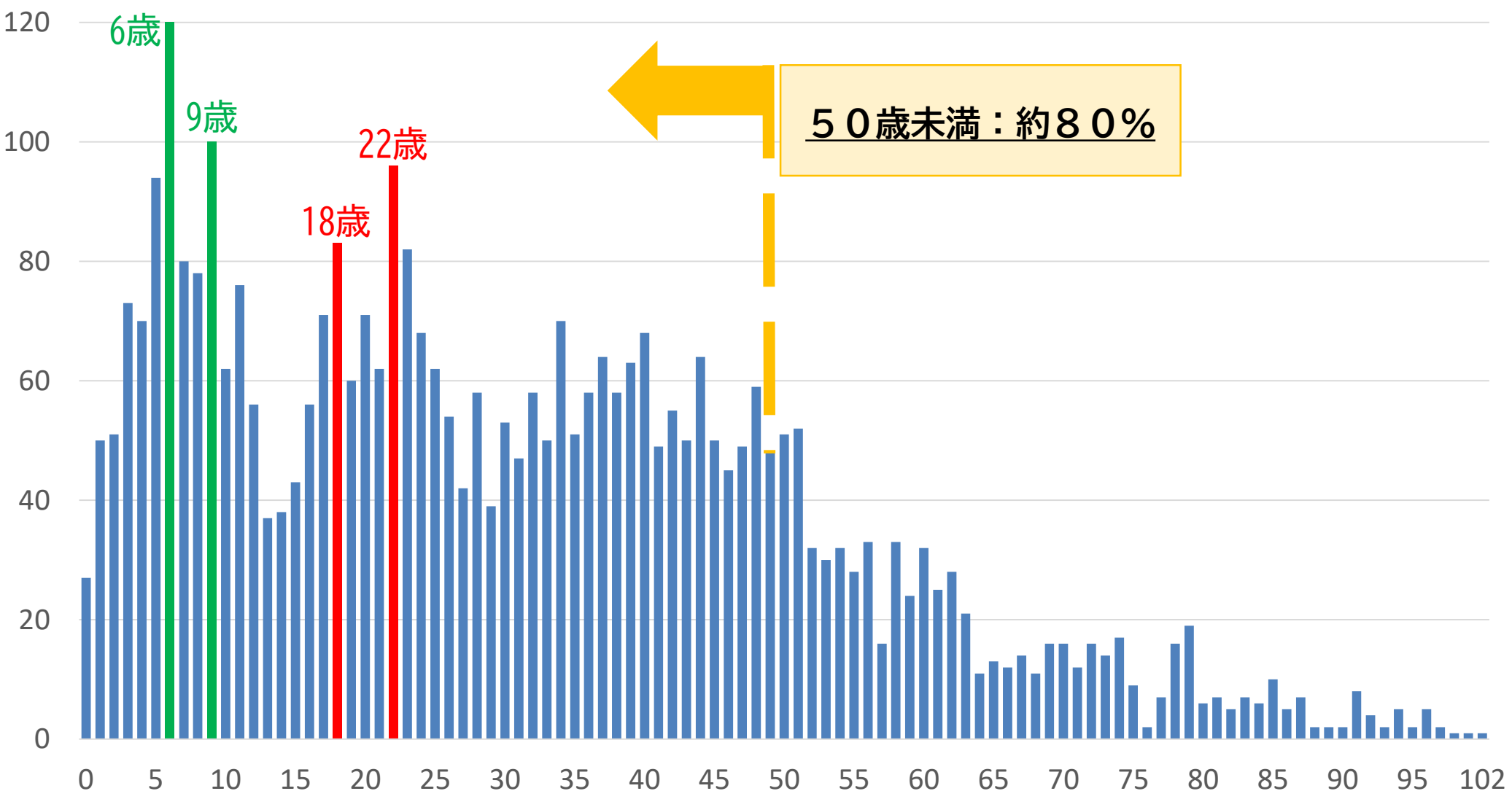
② 会食ルールの遵守

➤ 歓送迎会や卒業・入学のお祝い会等の恒例行事は、特に注意

- ・ 大人数、長時間を避けて
（1 テーブル 4 人まで、テーブル間隔は十分確保、移動なし）
※ただし松山市は、非認証店は 4 人以下、概ね 2 時間以内で
- ・ 体調不良の方や、感染リスクの高い行動をとった方は絶対に参加しない・させない
- ・ 認証店など、感染対策が徹底されたお店を利用

年齢別陽性者数（3月4日～17日公表分）

- 未就学児や小学校低学年（6歳や9歳）が多い。クラスターの影響もあるが、家庭内感染にも注意を。
- 4月からの進学、就職を控えた18歳や22歳が多い。注意が必要。



小児患者（15歳以下）の主な症状

- オミクロン株では、風邪に似た症状(発熱、咳等)が顕著に現れる
- 一方、デルタ株までの特徴的な症状と言われていた味覚・嗅覚障害の割合は大きく減少

症状	流行初期 (R2.2月～3.7月) 2,830例	デルタ株 (R3.8月～3.12月) 1,241例	オミクロン株 (R4.1月～4.2月) 1,058例
発熱	41.1%	58.7%	80.6%
咳	37.5	48.1	51.5
鼻汁	24.5	22.8	26.6
咽頭痛	8.6	13.1	26.1
頭痛	7.0	9.9	19.8
倦怠感	5.5	6.0	11.2
嘔吐	4.2	5.6	9.9
味覚障害	4.1	3.9	0.7
嗅覚障害	3.4	4.2	0.5

(出典) 日本小児科学会：入院施設を有する医療機関等からの報告による（約 6 割は入院を要した症例）

小児患者における症状（痙攣・嘔吐）

- オミクロン株は、子どもでも「強い症状」が現れることがあり、注意を
- 子どもへの感染を防ぐため、家庭に感染を持ち込まないことが重要

○ 痙攣（けいれん）

年齢	流行初期 (R2.2月～3.7月)	デルタ株 (R3.8月～3.12月)	オミクロン株 (R4.1月～4.2月)
1 - 4 歳	1.3%	3.0%	<u>9.4%</u>
5 - 11 歳	0.4	0.0	<u>3.5</u>

- ➡ オミクロン株流行期では、
熱性痙攣を起こしやすい 1 - 4 歳に加え、5 - 11 歳でも増加

○ 嘔吐

- オミクロン株流行期では、流行初期やデルタ株に比べて、
特に、5 - 11 歳で増加(14.5%) [流行初期4.4%、デルタ株6.1%]

新型コロナワクチン小児接種Q&A（保護者の方へ）

Qなぜ、小児（5～11歳）への接種が行われるの？

A 小児においても中等症や重症例が確認されており、特に基礎疾患を有する等、重症化するリスクが高い小児には接種の機会を提供することが望ましいとされています。また、今後様々な変異株が流行することも想定されるため、厚生労働省の審議会で議論された結果、小児を対象にワクチン接種を行うこととされました。

Qなぜ小児接種は「努力義務」が適用されていないの？

A 小児用のワクチンは、臨床試験等から有効性や安全性が確認されていること、海外でも広く接種が進められていること等を踏まえ、日本でも接種が行われることになっています。

しかし、小児については、現時点において、オミクロン株に対するエビデンスが確定的でないことも踏まえ、小児について努力義務の規定は適用せず、今後の最新の科学的知見を踏まえ、改めて議論することが適当であるとされています。

Q小児接種は、どのような効果があるの？

A ファイザー社のワクチンは、5～11歳の小児においても、デルタ株等に対して、中和抗体価の上昇や発症予防効果が確認されており、2回目接種後7日以降の発症予防効果は、90.7%と報告されています（※）。

※オミクロン株に対する効果については、今後のデータの集積を待って評価する必要があります。

Q基礎疾患があっても接種して大丈夫？

A 基礎疾患がある子どもなど、特に重症化リスクの高い方には接種が勧められています。かかりつけ医とよく相談しながら、接種をご検討ください。

5～11歳を対象とした臨床試験では、肥満や喘息、神経疾患、先天性心臓疾患等の基礎疾患がある方も含めて試験が実施され、ワクチン接種の有効性が確認されています。また、安全性についても、評価された例数に限りがあることに留意する必要があります。必要があるものの、被験者全体における結果と同様であったことが確認されています。

新型コロナワクチンの接種にあたり考慮すべき小児の基礎疾患等は、こちら
（日本小児科学会）

https://www.jpeds.or.jp/modules/activity/index.php?content_id=409



Qどのような副反応があるの？

A 12歳以上の方と同様、接種部位の痛みや倦怠感、頭痛、発熱等、様々な症状が確認されていますが、殆どが軽度又は中等度であり回復していること、現時点で得られている情報からは、安全性に重大な懸念は認められていないと判断されています。

■数日以内に起こることがある症状

症状が出た人の割合	症状
50%以上	注射した部分の痛み、疲れた感じ
10～50%	頭痛、注射した部分の赤み・はれ、筋肉痛、寒気
1～10%	下痢、発熱、関節痛、嘔吐

Q保護者が気を付けることは？

A ワクチン接種後数日以内は、接種部位の痛みや倦怠感、頭痛、発熱等の症状がみられることが多いため、このような症状に注意しながら過ごす必要があります。

また、海外では、ごく稀ですが接種後に軽症の心筋炎を発症した例が報告されています。接種後4日程度の間、胸の痛みや動悸、息切れ、むくみなどの症状がみられた場合は、速やかに医療機関を受診し、ワクチンを接種したことを伝えてください。

Q接種時に必要なものは？

A 5～11歳のワクチン接種では、原則、保護者の同伴が必要となります。また、未就学児の子どもの接種履歴は母子健康手帳で管理しているため、特にこの年代の方は、接種当日は可能な限り、母子健康手帳の持参をお願いします。

■相談先等

新型コロナワクチン施策の在り方について	厚生労働省新型コロナワクチンコールセンター 電話番号：0120-761-770（フリーダイヤル） 受付時間：9：00～21：00（土日祝日を含む）
接種後の副反応について	愛媛県新型コロナワクチンコールセンター 電話番号：0120-567-231（フリーダイヤル） 受付時間：24時間対応（土日祝日含む）
接種の予約や接種会場等について	お住まいの市町の相談窓口

小児接種の有効性・安全性
などの詳しい情報は、こちら
（厚生労働省HP）

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/vaccine_for_children.html

